まつやま

2008.Spring

ＮＰＯサポセンだより

■　第３期の運営は、ＮＰＯ法人アクティブボランティア２１が継続で担当します。

今年2月、第3期まつやまＮＰＯサポートセンターの受託審査会が行われました。
審査の結果、ＮＰＯ法人アクティブボランティア２１がセンター運営業務を継続することになりました。
これもセンターのことを日頃から応援いただいている、ＮＰＯや市民の皆様のおかげです。
今後も“ＮＰＯは市民のよきパートナー”を合言葉に、
市民活動の推進とＮＰＯの皆様のサポートを進めてまいりたいと思いますので、
今後ともどうぞよろしくお願い致します。

なお、第３期では、今年で10周年となるＮＰＯ法の契機となった、阪神淡路大震災と重ねあわせ、発生が予想されている南海地震への対策として「災害サポートと、日頃の問題解決型ネットワークづくり」、そしてＮＰＯが市民の力になることができる「持続可能な運営基盤づくり」の２つを大きなテーマに、どうすればＮＰＯの運営が持続可能になり、相互の力で解決する協力関係が作れるのか、という課題に取り組んでまいります。

それは、皆様のご協力があってはじめて成功すると考えております。
ですから、よりよい未来のために、どうぞご支援をよろしくお願い申しあげます。

まつやまＮＰＯサポートセンタースタッフ一同

□今号のもくじ

１面：第３期運営団体決定のおしらせ
２～３面：第３期はこんなことをします！
４面：えひめイヌ・ネコの会が認定ＮＰＯ法人になりました！
５面：認定ＮＰＯ法人になるための５つのポイント（保存版）
６面：ＮＰＯ探訪～ＮＰＯ松山冒険遊び場みんなだいすき！
７面：ＮＰＯ探訪～ＮＰＯ法人ラ・ファミリエ
８面：ＮＰＯ探訪～モコクラブ
９面：ＮＰＯ探訪～はーと・ねっと・くらぶ
10面：子育てＮＰＯ連絡会～2/26イベント報告、今年のＮＰＯまつり日程決定！
11面：まつやまＮＰＯサポートセンターのご案内
12面：おしらせコーナー

◆第３期は、こんなことをします！

▼テーマは「持続可能な運営基盤づくり」と「災害サポート・問題解決型ネットワークづくり」です

第3期のテーマは、「持続可能な運営基盤づくり」と「防災サポート・問題解決型ネットワークづくり」です。

「持続可能な運営基盤づくり」とは、安定した資金繰りの体制を作ることです。

ＮＰＯが掲げる公益を実現するためには、事務所を借りる、常勤職員を置くなど、経費がかかります。

その経費を安定して確保できるよう、資金作りができる環境づくりをお手伝いします。

「災害サポート・問題解決型ネットワークづくり」とは、お互いが連携できる体制を作ることです。

お互いが実現したい目標に向けて、「何を求めているか」「何ができるか」を共有し、

話し合いのできるテーブルを作る環境づくりをお手伝いします。

具体的には、主に以下のような仕事を進めていく予定です。

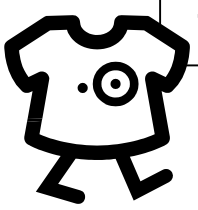
1　持続可能な運営基盤づくり

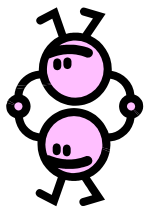
ＮＰＯの運営力向上のために、各種人材の育成に取り組みます。

→自主事業による財源を安定化させるための、実践勉強会を立ち上げます。

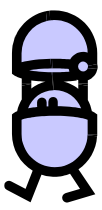
→寄付金財源の開発を実現するための、実践勉強会を立ち上げます。

→運営力ＵＰに向けた、事業計画、会計、助成金、広報等の講座を行います。





2　災害サポートネットワークづくり



万が一の際にも、ＮＰＯが専門性と資源を発揮できるサポート体制を作ります。

→地域住民との協力関係を作ります。

→「ＮＰＯができること」を取りまとめ、地域住民へ提供します。

→ＮＰＯまつりなどで、防災に関する意識付け、啓発に取り組みます。

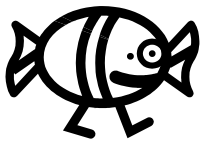
3　問題解決型のネットワークづくり

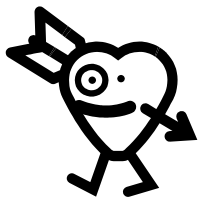
行政、地域組織、企業とＮＰＯが協働してまちづくりを進める場を作ります。

→ＮＰＯ、市民活動に関する各種相談や個別の支援を行います。

→ＮＰＯがそれぞれに抱える課題を解決できる、コーディネートを行います。

→ＮＰＯ、市民、行政、企業、学生等が交流する場作りを行います。





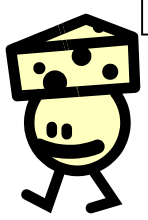
4　ＮＰＯの情報センターづくり

ＮＰＯ･市民活動についての情報収集と情報提供をし、情報公開をすすめます。

　→ホームページ、広報誌でイベント、活動情報を100箇所以上に配信します。

→施設内に、団体紹介コーナー、チラシコーナーを設けます。

→愛媛ＣＡＴＶとの協働で、団体紹介番組を制作、放映します。



5　行政、地縁組織、企業との協働の場づくり

行政、地域組織、企業とＮＰＯが協働してまちづくりを進める場を作ります。

→地区まちづくり協議会との関係作り、暮らしのニーズ把握を行います。

→市とＮＰＯがお互いを知り、双方向の提案に基づく協働モデルを作ります。

→企業にＮＰＯ情報を発信し、お互いにWin-Winとなる関係作りに取り組みます。

第3期のセンターは、「みんなでうごかすサポートセンター」にしたいと思います。

市民、ＮＰＯ、行政、企業、スタッフがひとつひとつの事業･イベントに主体的に関ることで、

「わたしたちのまつやまＮＰＯサポートセンター」と呼ばれるようになるように

努力してまいります！

◆えひめイヌ・ネコの会が認定ＮＰＯ法人になりました！

▼…認定ＮＰＯ法人ってなぁに？→国税庁の審査をパスしたＮＰＯです！

平成20年3月1日より、ＮＰＯ法人えひめイヌ･ネコの会が認定ＮＰＯ法人になりました。

現在、日本全国にＮＰＯ法人は約33,000あるといわれていますが、認定ＮＰＯ法人は75だけです。

これは、全国の受験生のうち、東京大学に入学する数と同じくらいだと言われています（0.2%）。

認定を受けたＮＰＯ法人は、寄付者に対して税制上の優遇措置を与えることができます。

つまり、認定ＮＰＯ法人に寄付をすると、税金が安くなる可能性があるのです。

上：申請書類はこんなに分厚い！（これで1部）

まつやまＮＰＯサポートセンターでは、平成17年から認定ＮＰＯ法人制度の活用に向けて、講座や個別支援を行ってまいりました。

毎年、高松国税局から講師を招いての制度説明会を実施したり、平成18年には認定ＮＰＯ法人制度の第一人者である公認会計士の赤塚和俊さんをお迎えしての講座を行いました。また17年には「認定申請マニュアル」を製作しました。

その結果、ＮＰＯ法人えひめイヌ･ネコの会さんが認定申請にチャレンジすることを決意されました。そしてセンターも書類作成のお手伝いに携わり、約1年間かけて書類作成、国税局への訪問、国税局からの質問応対、訪問の対応と追加書類の作成に取り組みました。

そして平成20年3月に認定が決定、四国初の認定ＮＰＯ法人が松山に誕生したのです！

＜えひめイヌ･ネコの会代表　高岸ちはりさんのメッセージ＞

法人の年間予算は当会のように１０００万円未満の法人から２８億円までとさまざまです。

認定ＮＰＯ法人になった目的は「寄付金の収入の増加を図る」というだけでなく「社会的信頼性の向上につながる」です。認定を受けるためには多くの書類を作成や、厳しい要件があるのを知っていましたが、ハードルが高いだけやりがいもありました。

実際、講習会に何度も参加したり、高松国税局にも相談に行ったりと、時間･体力･頭脳を消耗する厳しい月日を過ごしました。申請後も、高松国税局の方が当会事務所に何度も来られ、収支予算案や決算報告書、事業報告書等を調べて帰られました。この間当会を申請前からサポートしてくださったのは文字通りの「まつやまＮＰＯサポートセンター」の皆様です。サポートセンターさんの後押しがなければ申請できなかったかもしれません。ボランティアで行ってくれている当会の会計さんも頑張りました。

「ＮＰＯ会計税務専門家ネットワーク」理事長の赤塚和俊様や、税理士の方たちにも様々なアドバイスをいただき、何より日頃より会を支えて下さった会員の皆様、寄付者の方々のおかげで認定を受けることができました。心よりお礼を申し上げます。ありがとうございました。

◆認定ＮＰＯ法人になるための５つのポイント（保存版）

１．寄付のしくみをつくろう！

認定ＮＰＯ法人には、大まかに言って「収入の２０％以上が寄付金」というハードルがあります。

（厳密にいうと細かくなるので、イメージでそう捉えてください）

また、1000円未満の寄付金や、名前と連絡先が分からない人からの寄付金、

逆に一人から多すぎる寄付金をもらうと、認定資格の計算で除外されてしまいます。

（いわゆる募金箱は、名前のわからない寄付金扱いになるので注意が必要です！）

そこで「広く・薄く・明確な」寄付金をもらえるしくみを作りましょう！

２．寄付台帳をつくろう！

支援者から寄付を頂いた際には、「お名前、住所または電話番号、頂いた年月日」を記録しましょう。

こうしたデータをまとめたものを「寄付台帳（きふだいちょう）」と呼びます。

これが寄付金を求める際の唯一の資料になりますので、大切に保管してください。

なお、データを集計しますので、エクセルなどの表計算ソフトで管理するとわかりやすいでしょう。

３．会員名簿をつくろう！

申請には、会員名簿も必要になります。「正会員」「賛助会員」ごとに「どこの、だれが、いつ入会し、いつ退会したか」を記録していなくてはなりません。特に退会の処理はうやむやになっていることが多いですが、定款に基づいてきちんと処理をしておきましょう。

こちらもデータを集計しますので、エクセルなどの表計算ソフトで管理するとわかりやすいでしょう。

４．会計のしくみをつくろう！

認定の申請は、そのほとんどが帳簿をもとに行われます。

ですから日頃から、誰が見ても分かりやすい帳簿付けをしていくことが大切です。

そしてそのためには、「どれが何の帳簿か」「帳簿はどこにしまうか」「担当者はどう帳簿をつけるか」

ということをルール化しておいて、担当者の変更があった際でも、分からない数字がないようにしましょう。

５．公益性のしくみをつくろう！

認定の要件には「公益性の割合」という項目があります。

ここでは、「会員向けのサービス提供、活動」「特定の地域のみに利益のある活動」「特定の人物に関する活動（歴史上の人物を含む）」の割合（＝共益性）をできるだけ低くしなくてはなりません。そのため、自分たちの事業を公益的、共益的な活動かを分類して、公益性を保証する資料を準備しましょう。

◆まつやまＮＰＯ探訪　～まつやまで活動する団体をご紹介します

ＮＰＯ　松山冒険遊び場みんなだいすき！　(遊び場づくり)

■「遊び」は子どもにとって最大の「学び」です！

松山冒険遊び場は“子どもが自分で工夫し思いのままにのびのび遊べる場所を！”と願う地域のボランティアの人たちが、準備や片付けなど、いろいろな事を協力しあって作り上げている手づくりの遊び場です。何よりも子どもたちの「やってみたい！」という欲求や興味をひとつでも多く実現できるよう心がけています。

木や竹やストローで工作したり、木登りしたりして楽しむ子どもたち。ダンボールで隠れ家を作り、またそれを壊そうとする子どもたちもいます。それからみんなで協力し合ってひとつのことを成し遂げている子どもたちもいます。こんな遊び場ですから危険はすべてのところに潜んでいるといえます。

■「何かあったら管理者のせい、では子どもは育ちません」

しかし、プレーパークでは「危険があるから自ら注意もするし、冒険する気持ち、挑戦する気持ちもわく。少しずつ試してみるから自分ができることと、できないことがわかる。自分がやってみたいことだから、繰り返し試してみる。失敗もする。一人ではできないから、仲間と協力することを覚える。小さいケガを繰り返す中で大きな事故から自分の身を守るすべを身につける」という考えで遊びを展開しています。

自由な遊び場を保障するために欠かせない「自分の責任で自由に遊ぶ」というモットー。ここには責任をすぐ管理者に結び付けるのではなく、子どもをとりまく私たち大人ひとりひとりの問題として考え直していくことこそ、子どもの遊びをいきいきとさせる最大の条件だというメッセージがこめられています。

◆ＮＰＯ松山冒険遊び場みんなだいすき！については…TEL：089-952-9541
ＨＰ：http://www.voluntary.jp/bouken/

◆『飯岡公園で遊ぼう！』を毎週土曜日2時から5時まで、松山市別府町で開催中！

☆段ボールや木、縄、絵の具を使って好きなものを作ろう！

☆雨の日や、地域のイベントの日はお休みです。

参加費：100円（3歳以上の子ども。保護者は無料）

場　所：松山市別府町飯岡公園（セブンスター別府店裏）

ＮＰＯ法人　ラ･ファミリエ　（難病児と家族の滞在施設）

■「ファミリーハウスあい」って、ご存知ですか？

難病をもつ子どもや家族が我が家のようにくつろげる滞在施設として、愛媛県が敬宮愛子さまご誕生慶祝事業として県立中央病院の南に建設しました。ＮＰＯ法人ラ･ファミリエでは平成１５年の開設時より愛媛県の委託を受けハウスの運営を行なっており、平成１８年度からは指定管理者として運営を継続しています。

ラ･ファミリエでは前身団体の「愛媛ファミリーハウスをつくる会」として、平成13年から2つの滞在施設の運営を行ってきましたが、ファミリーハウスあいの建設を機に「愛媛ファミリーハウスをつくる会」を発展改組して、ＮＰＯ法人ラ･ファミリエを設立しました。

■「どんな子どもでも、安心して生活できる仕組みを作っています」

難病や障害を持つお子さんのご家族は精神的にも経済的にも大変なご苦労をお持ちのことと思います。ラ･ファミリエでは臨床心理士による相談や難病や障害を持つ親によるピアカウンセリングを行っています。また、毎年夏には、患児やその家族を対象に「媛っこすくすく愛キャンプ」を開催し、精神的な支援を行っています。

近年、小児医療技術の発達により、在宅で病気･障害をもちながら生きていける子どもが増えてきました。しかし、そのご家族を支えていくシステムはまだまだ追いついていません。地域･医療･福祉が連携してネットワークを構築し、どんな子どもでも安心して生活できるような体制づくりに我々も協力していきたいと考えています。

◆ＮＰＯ法人ラ･ファミリエについては…TEL：089-935-6437
ＨＰ：http://www.npo-lafamille.com/

◆ファミリーハウスあい　松山市室町７４－２（県立中央病院南隣）

お子様の入院･通院時に患児や家族が滞在できます。

（空室に余裕があれば成人の患者家族も利用できます）

利用料金は宿泊1,800円より　予約ＴＥＬ　089-921-5657（日祝を除く9時～16時30分）

NPO　モコクラブ　（聴覚障がいの教育・サポート）

■聞こえないことから、得られたものがあります。

モコクラブは、聴覚障がいを体験できる「モコゲーム」の普及と、聴覚障がいにまつわる教育を行っています。そのきっかけは、代表での原田さんに聴覚障がいのあるお子さんが生まれたことでした。「自分とは関係ないと思っていた世界に、いやおう無しにひきずりこまれたと思い、辛い日々を送っていました」と語る原田さん。

それが転機となったのは、故郷の福岡から松山に引っ越してきてからのことでした。松山で出会った聴覚障がいのある方が、手話のできなかった原田さんの口の動きを、丁寧に読み取っていたことにショックを受けたのです。

■「歩かせることから、歩み寄ることへ。この気づきに長い時間がかかりました」

「耳の聞こえない人が私たち聞こえる者に合わせるのにどれほどの苦労がいるのかと推し量り、私の前で声を振り絞り、私の口元を一生懸命に読み取る彼に申し訳ないと思ったのでした。」。そして原田さんは手話サークルを作り、一所懸命に手話を学びました。その結果、ここから原田さん親子は楽しい会話ができるようになっていきました。会では国語の教科書に出てくる詩や音楽の教科書に出てくる歌を手話に変えて楽しく学びました。

そしてここから、聴覚障がいを体験する「モコゲーム」と、楽しく手話を学ぶ「モコのおくりもの」が生まれたのです。現在、モコクラブというNPOを立ち上げ、その2つの普及に取り組んでいます。

マスコットのモコちゃん

◆モコクラブについては…TEL：089-932-4631

◆「モコで学ぼう」シリーズ

NO.1　「モコゲーム」…“聴覚障がい者の体験ゲーム”＜DVD解説付＞定価2,100円（税込）
病院・駅・レストランで聴覚障がい者がどんな苦労をしているか体験するゲームです。

NO.2　DVD「モコのおくりもの」…“詩と手話のコラボレーション“　定価1,500円（税込）
小学生の教科書の詩や歌に手話を付けました。50音をリズムに合わせて表す♪ゆびモリズム♪付です。

◆紀伊国屋書店、明屋書店で販売中。または、上記の電話番号にお問い合わせ下さい。

はーと・ねっと・くらぶ　（障がい児と健常児の合同キャンプ）

■心がゆさぶられる、キャンプがあります。

はーと・ねっと・くらぶは、障がいのある子どもと、ない子どもが一緒の班になってキャンプを行う団体です。「あいあいキャンプ」という名前で、異なる立場にある子どもたちが一緒になって活動することから、お互いの違いを認め合い、助け合う心を育むことを目的としています。

子どもたちにとっても、それをサポートするスタッフ（大人）たちにとっても、このキャンプは「どうなるかわからない」ことだらけです。色々な失敗や驚き、困難にぶつかった時の思いもよらない助け合いなど、多くのことが子どもとスタッフにとって価値の高い「気づき」をもたらしています。

■「子どもたちが本気でぶつかりあう。大人はそれをそっと見守るだけ」

このキャンプでは、大人たちはほとんど子どもたちを手伝いません。子どもたちが「やりたいこと」を尊重し、食事の準備なども自分たちだけでやるようにしています。もちろん子どもたちが安全にキャンプを過ごせるよう、事前の準備や当日のきめ細かい配慮をしていますが、「やさしいけど、甘やかさない」という態度を徹底しています。

それは子どもたちが、本気でぶつかりあい、そこから協力し合える関係を作るためです。「できること・できないこと・たすけあえること」を、キャンプを通じて実体験することで、子どもたちが大きく成長する機会を、はーと・ねっとー・くらぶは作り出しています。

◆はーと・ねっと・くらぶについては…TEL：089-921-1557
ＨＰ：http://www.aobaland.com/aiai/index.htm

◆あいあいキャンプスタッフ＆キャンパー募集

▼あいあいキャンプスタッフ募集説明会…4月12日（土）
※時間や場所については、
はーと・ねっと・くらぶさんより連絡いたします。

▼キャンパー募集…5月11日～6月6日
※参加対象：小学3年生～高校3年生

2008年キャンプ予定
7月6日（日）
プレキャンプ
8月21日～24日
本キャンプ
10月26日（日）
アフターキャンプ

◆13団体が協力して、事業開催。135名が参加！

2/26　子どもを虐待からまもり、すくう研修会　西澤哲氏講演会を実施しました

■子育てNPO、愛媛県内を動かす！

2月26日　松山市青少年センターにて「子どもを虐待からまもり、すくう研修会～西澤哲氏講演会」を開催いたしました。当日は市内を始め、東予、南予からも多くの方にご参加いただきました。

このイベントは、子育てに関るNPOが集まり、準備した協働事業です。名義貸し、会員･知人への広報、事前準備の手伝い、当日スタッフ、協賛金の営業など、多岐にわたる仕事をお互いの団体が協力し合い、実現にこぎつけたのです。

■「それぞれができること」を集めれば、大きなイベントだって作れます！

今回の講演会は子ども虐待をテーマとしていましたが、子ども虐待を専門に扱う団体は協力団体の中にいませんでした（講師のご好意により、偶発的にチャンスが舞い込んだためです）。普通、こういったイベントは1つの団体が個別に開催することがほとんどです。本来ならば、好意があっても受け入れる団体がなければ実現できなかったでしょう。ですが今回は、みんなの力を合わせることで、想像以上の成果と影響力を発揮することができました。

今後サポートセンターでは、これを「どのようにしてしくみに変えるか」（＝安定して使える手法にするか）を研究していきたいと思います。

◆今年のＮＰＯまつりは９月７日開催予定です！

毎年秋に開催しております「ＮＰＯまつり」ですが、今年は9月7日の開催を予定しております。

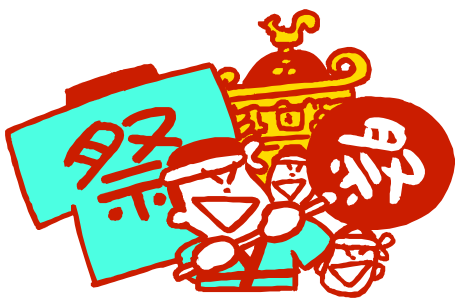
今年はＮＰＯ法が施行されて１０年の節目の年に当たります。

そこで今回は「災害のとき、わたしたちができること」をテーマに勉強会を開くほか、

市民の皆様に楽しくＮＰＯを知っていただく機会を設けたいと考えております。企画概要等は近日発表予定です。

今年も「みんなでつくるイベント」にできたらと思います。

どうぞよろしくお願い致します！



サポセンにいってみよう！～ご利用案内～

まつやまＮＰＯサポートセンターは、市民活動団体の人たちや、これから活動しようと考えている人たちの拠点施設です。市民活動、ＮＰＯに関するご相談、暮らしに役立つ団体紹介･イベント情報などのサービスを皆さんにご提供しています。お近くにお越しの際は、お気軽にお立ち寄り下さい！

▼　情報コーナー

エコロジー、子育て、福祉、カルチャーなど、松山市の市民活動情報が集まっています。セミナーや講座の情報もこちらからどうぞ。

▼　ＮＰＯにまつわる図書の貸し出し

ＮＰＯに関する書籍を、市民の皆様向けに貸し出ししています。
期間は2週間で、お一人様5冊まで。
各企業のＣＳＲ報告書も多数取り揃えています。

▼　ＮＰＯに関するご相談、団体情報の提供

「ＮＰＯって何？」「市内にはどんな団体があるの？」「団体を立ち上げたいんだけど…」といったご質問に、センタースタッフがお答えします。

▼　打ち合わせスペース

少人数で自由にお話のできるスペースを提供しています。
また、ご登録いただいた団体には、会議室１－２（定員１８名）の無償提供を行っています（要予約）。

▼　ロビー展示

月替わりで、市民活動団体に告知スペースをご提供！
自分たちの活動をＰＲするチャンスです。（月200名以上来所）
出展は随時受け付けています。

▼　開所時間

火～土：9：00～18：00　※事前連絡があれば21：00まで　　日･祝：9：00～17：30　月曜、年末年始休
お問い合わせはＴＥＬ：０８９－９４３－５７９０まで

★おしらせコーナー

■　今後の講座予定

●初歩からの助成金講座

4月18日（金）13：30～16：00　コムズ会議室1　定員20名（先着順）

4月25日（金）19：00～20：30　コムズ会議室1　定員20名（先着順）

市民ニーズ・自分たちの理念・事業提案のたな卸しをその場で行います。

多くの助成金、協働・委託事業提案で使えるノウハウをご提供します！

●決算講座・決算相談会　共催：愛媛中小企業指導センター

決算講座　　４月23日（水）13：30～16：30　先着20名

決算相談会　５月８日（木）13：30～16：30　先着８団体

決算講座では税理士・石丸裕司先生をお迎えしての決算講座を、

相談会では皆さんの帳簿等を元に、個別相談をお受けします！

お申込みはＴＥＬ：０８９－９４３－５７９０　まつやまＮＰＯサポートセンターまで

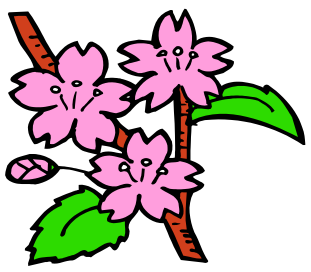
■　ＣＡＴＶで皆さんの活動をアピールしませんか？（募集定員：24団体）

まつやまＮＰＯサポートセンターでは、月1～2回、愛媛ＣＡＴＶで団体紹介の番組を放映しています。

「がんばっている人・団体」をテーマに、3～5分程度の活動アピールをしたい方を募集しています。

スケジュールが合えば、皆さんの活動現場までお伺いいたします！

お問いあわせはＴＥＬ：０８９－９４３－５７９０　まつやまＮＰＯサポートセンターまで



お問い合わせは　まつやまNPOサポートセンター　まで
〒790-0003　松山市三番町6丁目4-20　コムズ内
Tel：０８９－９４３－５７９０　　Fax：０８９－９４３－５７９６
E-mail：pico@npo.coms.or.jp　URL：http://www.npo.coms.or.jp